

ミュージアム講座

デジタル歴史考古学

2007年

6月

各回 14:00~16:00

会場 岡山市デジタルミュージアム4階講義室

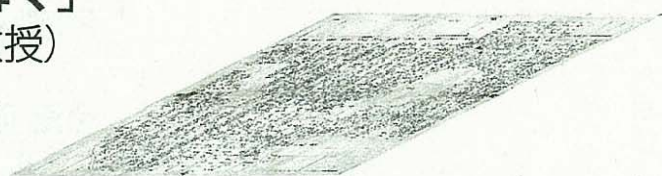
定員 80名 受講料無料(4回通して受講して下さい)

事前予約が必要 (電話 086-898-3000)

2日(土)

「服部郷図の謎を解く」

新納 泉 (岡山大学教授)



9日(土)

「シミュレーションがひらく古代史—人口・災害・集落—」

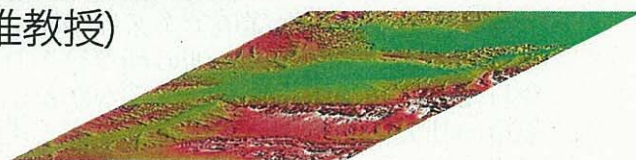
今津 勝紀 (岡山大学准教授)



16日(土)

「衛星画像で見る中国古代都市」

佐川 英治 (岡山大学准教授)

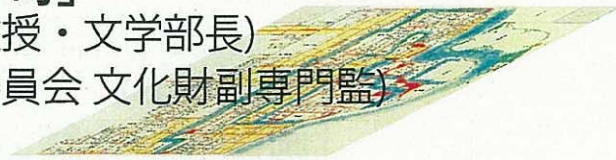


24日(日)

「画像を歩く岡山城下町」

倉地 克直 (岡山大学教授・文学部長)

乗岡 実 (岡山市教育委員会 文化財副専門監)



岡山大学文学部

岡山市津島中3-1-1

086-251-7345 (庶務係)



岡山市デジタルミュージアム

岡山市駅元町15-1 TEL (086)898-3000

<http://www.okayama-digital-museum.jp>



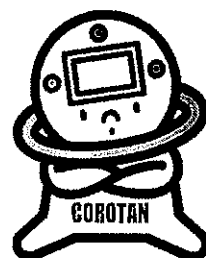
デジタル歴史考古学

6月2日(土)

「服部郷図の謎を解く」 考古学

新納 泉 (岡山大学教授)

中世の開発や土地利用を物語る第一級の史料「備中国賀陽郡服部郷図」。デジタル技術を駆使して、現地を推測する新しい説を提示、これまで解き明かされてこなかった、いくつかの謎にメスを入れています。



6月9日(土)

「シミュレーションがひらく古代史
—人口・災害・集落—」

今津 勝紀 (岡山大学准教授)

日本古代史

コンピューター上に作り出したバーチャル古代社会の変化を観察したり、地震や飢饉などの災害を復原して当時の人々がそれにどう対応したかを考えるなど、シミュレーションの手法により古代社会のダイナミズムに迫ります。

6月16日(土)

「衛星画像で見る中国古代都市」

佐川 英治 (岡山大学准教授)

岡山市の友好交流都市でもある洛陽は、中国古代文明の中心地で、歴代王朝の都が築かれた場所です。今日にも残る数多くの遺跡を手がかりに、中国古代都市の壮大な都市プランを衛星画像と現地調査から考えます。

東アジア古代史

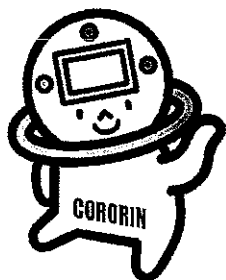
6月24日(日)

「画像を歩く岡山城下町」 日本近世史

倉地 克直 (岡山大学教授・文学部長)

乗岡 実 (岡山市教育委員会文化財副専門監)

考古学



岡山城や城下町の多彩な絵図で知られる岡山大学所蔵の池田家文庫。デジタル化が進む絵図の最新の画像を紹介しながら、現在の町並みや発掘データと対比し、城下町の景観と歴史をたどっていきます。